

SIZSTAR'S STORY

003



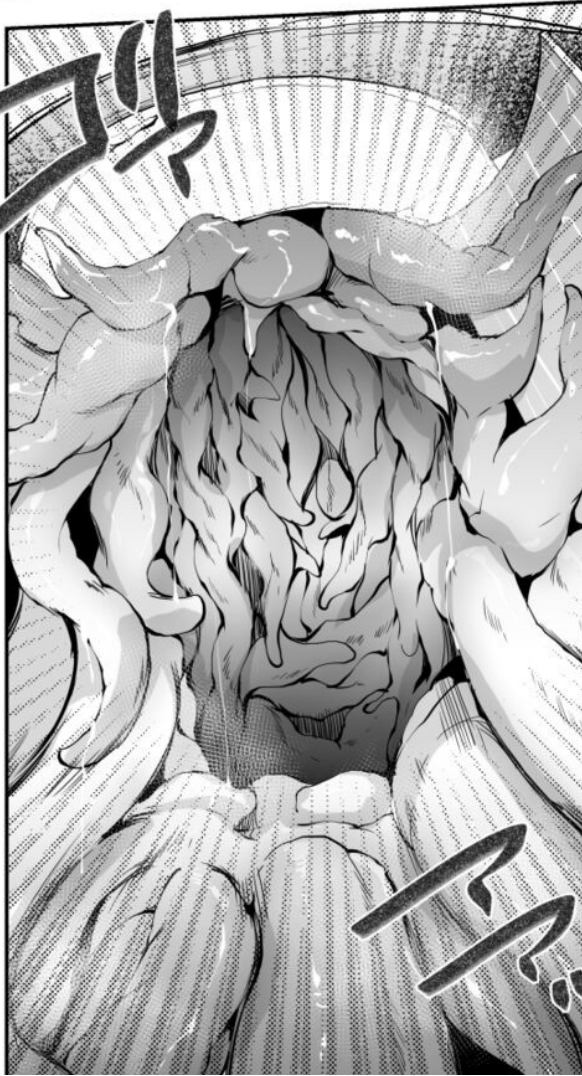
adult-only



任務にてー
特殊な素材を収集するため本拠地とは
別の惑星に降り立ったシズスタール



はあっ!!



出たわね



ズッ
ズッ
ズッ

いやっ!
こんな中閉じ込められ
たくないっくそッ
離さないよおッッ!



な...何その中身っ!?
気持ち悪...ッッ!

ズッ
ズッ
ズッ



ズッ
ズッ
ズッ

ヤッッ...

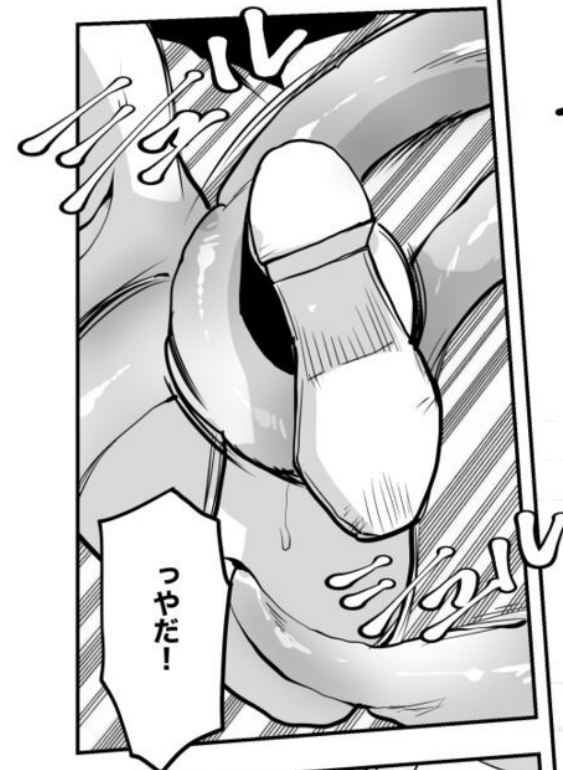


密閉されて息が苦しい
それだけじゃないが
この中に充満した匂いが
頭を痺れさせてる...

装備も溶かされ
始めてるしこのままじゃ
本当に危ないッ!

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ





また取り込まれる！
逃してよっ
あの中戻るの嫌っ！



どうにかして
仲間と連絡する
手段を
考えないと



うっっ…
さっきみたいに
こじ開けるかに
残ってないのに…

— 現地のとある街

お、門番が
帰って来たぞ
やたら長いぞ
散策だったな

散策中
コノヨウナ
獲物ヲ捕獲シマシタ

お、お前いつの間に
言葉を喋れるように
なったんだ!?

獲物カラ知性ヲ吸収シ
コノヨウニ知能ガ
向上シマシタ

コレカラハ
意思ノ疎通ガ向上シ
ヨリ街ノ防衛ニ
役立ツコトデシヨウ

ズボズボズボ

一度獲物ヲ確認クダサイ
吸収シタ結果
危険性ガナイ
タダノ獣ダト判断シマス

ああ…これは
人間ではないな

しかしこいつを取り込んで
門番が喋れたことは
画期的なことだぞ!?

危険性がないのなら
他の門番に
与えてみようぜ



了解シマシタ
ソレデハコレヲ
再度発情サセマス



また交尾してくれるのっ♡
触手♡ズボズボしてっ♡
お腹の奥子宮の入り口まで
来ちゃってえええへへ♡

んあああっ♡



発情ニヨリ
分泌サレタ体液ニ
コレノ生命カガ含マレ
ソレニ対シ私ハ
知性ヲ得ラレマシタ

他ノ門番テアル
仲間ニモソレハ
スル見込ミガアリマス

体液ハ触手ガ
刺激スル度ニ
射出スルヨウデス



またくるっイイクイッ♡
吹いちやうっ♡
潮吹いて絶頂キメる♡

キメたのに
ずつとお腹の熱いの
止まんないっ♡
ずつと絶頂っ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

いいっ♡ずつと
絶頂のままが
好きなのこれっ♡
これっ♡

ズッ
ズッ
ズッ



一時停止シマス
束縛解除



もしかして体液の
匂いで寄って
来てるのか?



おい、ペット共が
こいつに寄って
来てるぞ



あんなペットに
されるがままでせよ
本当に害がなければ
しばらく調べてみるか

そうだな
あの体液を使って
他のものに見えるか
試してみよう



うん、来たっ♡
うれしっ♡♡♡

その後ー
シズスタールが出す体液が
どのように街の装備や生き物に
反応するかの研究がされた

その他に門番である
モンスターを運ぶことにも
使われることがあった

それは彼女がエネルギーを
吸収されすぎてしまい
発情するしか能のない
家畜以下に成り下がってしまい

全裸で街を歩く彼女は
人とみなされず
通り過ぎるペットに犯され
住民に見られても
嬉しそうにヘラヘラと舌を
出し発情する

門番が本来の仕事に勤められなく
適当なペットなどに発散
してもらうしか術がないからだ



そして彼女の力を得た門番のモンスターは
より巨大になり知性の他にも
攻撃力防御力も向上することに成功した



それも全て別の惑星から来た
彼女の体液のおかげではあるが
そこまで解明されることはなかった、そして



彼女のような供給源を求めた結果
誰かからぬ旅人を
同じように触手の快楽漬けにしたのだった



仕事中はこいつに
吸収させる



♡アハハハ♡

カシロママミタ



おい門番
これから狩りに出かける
中のそいつを出して
俺たちの警護についてこい



んああああっ♡
んがああ♡♡♡
ひやあ♡♡♡
出ううう♡
♡イクツ♡
♡



他の惑星からの
生命体らしいから
俺たちの常識じゃ
わからんだろう



長いこといるが
あれほどこまで
逆気なんだ？
逆に恐ろしいな



こうして
シズタールは本拠地ではない
惑星にて犯されイキ狂う幸せを得た



そして任務から帰ってこない
派遣されたかつての仲間
は彼女の姿を見て



手に負えないと
一目散に逃げ出した

SIZSTAR'S STORY

003



adult-only